



横浜市が取り組む地球温暖化対策の一環として GTL 燃料が推奨されました

伊藤忠エネクス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：岡田賢二）は、横浜市の公共工事において、CO₂（二酸化炭素）排出量削減に向けた具体的対策の一つとして、GTL 燃料の利用が推奨されたことをお知らせいたします。

横浜市では、地球温暖化対策の目指す姿（ゴール）として 2050 年までの脱炭素化「Zero Carbon Yokohama」を掲げ、環境負荷低減への様々な取り組みを実施してきました。その活動の一環として、1 月 25 日に行われた記者発表において、市内公共工事における「温室効果ガス排出ゼロ」を推進するため、再生可能エネルギー等の積極的な活用が推奨されました。

今回の取り組みにより、横浜市内の公共工事において GTL 燃料を使用する事業者は、工事請負費に計上されている現場環境改善費の一部として充当できる他、工事成績評定において加点評価の対象となります（詳細は以下 URL をご参照ください）。

https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/ondan/2020/kouji_saiene.html

GTL 燃料は天然ガス由来の軽油代替燃料で、石油由来の軽油と比較して CO₂ 排出量が少なく、大気汚染の要因となる NO_x（窒素酸化物）や PM（ばい煙や粉じんなどの粒子状物質）の排出量も低減できます。

エネクスグループでは、経営理念「社会とくらしのパートナー」のもと、エネルギー企業としてエネルギーの安定供給を行うとともに、今後も脱炭素社会の実現、環境負荷低減、持続可能な社会への貢献を目指してまいります。



『GTL 燃料』は無色透明・無臭



燃焼の様子（左：軽油、右：GTL 燃料）



本件において貢献が期待される SDGs 項目

【本リリースに関するお問い合わせ先】

伊藤忠エネクス株式会社 産業ビジネス部門 環境ビジネス部
山田・坂口 TEL03-4233-8073